

2014年12月02日

## 「第8回UEC杯コンピュータ囲碁大会」企画書

日程：2015年3月14日（土）予選（変形スイス式による16プログラム選抜）  
15日（日）決勝（トーナメントによる順位戦） 午後より大盤解説

場所：電気通信大学 西9号館3階AVホール（メイン会場）  
（調布市調布ヶ丘1-5-1、京王線調布駅より徒歩10分程度）  
URL: [www.uec.ac.jp/about/profile/access/](http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/)

**概要：**国内外から、多数のプログラムが参加する大きな大会へと成長している。大会は2日間開催され、国際的に見ても、最大規模のコンピュータ囲碁の大会になっている。以下の協賛、後援をいただいて毎年開催されている。

協賛：株式会社 囲碁将棋チャンネル  
後援：公益財団法人 日本棋院、一般社団法人 人工知能学会  
協力：コンピュータ囲碁フォーラム  
主催：電気通信大学エンターテイメントと認知科学研究ステーション  
URL:<http://entcog.c.ooco.jp/entcog/>

**背景：**日本棋院、コンピュータ囲碁フォーラム、岐阜県などが主催となって開催されてきた「岐阜チャレンジ」が、2006年を最後に終了したこの年、モンテカルロアプローチという一つの大きなブレイクスルーが現れた。国内でなんとか大会を開きたいという要望を受け、電気通信大学のエンターテイメントと認知科学研究ステーションが中心となって、2006年からUEC杯コンピュータ囲碁大会を始めることとした。その後、ほぼ毎年開催されている。

**目的：**ゲームを題材とした研究の歴史を振り返ると、チェスを題材にして、人工知能、認知科学、探索、パターン認識、データマイニング、最適化技術等々、実に様々な分野の研究が活性化したという歴史がある。世界に広く普及した思考ゲームの中で最も探索空間の広い囲碁は、コンピュータにとって最も難しい課題であると言われている。技術を競い合う場を設けることで、当該の分野の技術の発展を促すとともに、コンピュータ囲碁の棋力を図る場として機能することを目的とする。

また、本大会では、開発者の少なくとも一人が現地に来ることを必須としており、学術的、技術的交流のある大会にしていきたいと考えている。近年通信によるネット大会も増えている中、敢えて開発者が一同に会して、互いのプログラムについて技術的に交流できる場としても貴重な場となることも期待している。

**運営：**エンターテイメントと認知科学研究ステーション参画者を中心とした運営委員と、電気通信大学の学生によるボランティアスタッフにより運営されている。第7回大会より、協賛企業が入り、上位入賞者には、賞金を出すこととなった。第7回は、優勝20万円、準優勝10万円、第3位5万円の予定。なお、参加費は無料。

大会HP：<http://jsb.cs.uec.ac.jp/~igo/>